

平成22年度第1回米子工業高等専門学校評議員会議事要旨

1. 日 時 平成22年7月22日(木) 10時00分～12時00分
13時30分～16時00分

2. 場 所 米子工業高等専門学校

3. 出席者 【委員】

田中久隆（議長）（鳥取大学工学部長）
藤原辰広（鳥取県教育委員会高等学校課長）
田中義雄（鳥取県西部地区中学校長会会長）
西井 通（米子工業高等専門学校後援会会長）
矢末 誠（米子工業高等専門学校同窓会会長）
森脇 孝（米子工業高等専門学校振興協力会会長）

（欠席者）

皆尾雅人（米子市企画部長）
岡田慎也（ダイキン工業株式会社滋賀製作所所長）
金田 昭（(財)鳥取県産業振興機構理事長）

【米子工業高等専門学校】

齊藤正美校長 小田耕平副校長 香川律教務主事 森田典幸学生主事
能登路淳寮務主事 竹中敦司専攻科長 大塚茂地域共同テクノセンター長
大山正人事務部長

（説明者等）

松本至機械工学科長 新田陽一電気情報工学科長 河野清尊電子制御工学科長
青木薫物質工学科長 稲田祐二建築学科長 南雅樹一般科目長
熊谷昌彦建築学科教授

4. テーマ 「米子工業高等専門学校における専門教育について」

○ 校長挨拶

開会にあたり校長から、本校カリキュラムの充実及び改善に向けた取組みを積極的に展開、推進していくため、本日は、昨年度第2回の評議員会において御意見・御助言を頂いた教養教育に係る評価に引き続き、専門学科・専門科目の教育目標とその教育内容について、実際に授業を参観いただき、その内容・結果を踏まえて専門教育の課題等について忌憚のない御指導、御意見を賜りたい

旨挨拶があった。

5. 議 事

1) 会長選出について

米子工業高等専門学校評議員会規則（以下「規則」と記載）第5条第1項の規定に基づき、鳥取大学工学部長の田中委員が会長に選出された。

引き続き、規則第5条第2項の規定により、会長が本評議員会議長となることが確認された。

2) 米子工業高等専門学校における専門教育について

① 各専門学科の教育目標及び教育内容並びに参観対象授業科目説明

副校長から、今回は、各学科の教育目標、教育内容の説明をはじめ技術者を養成するための専門的知識、技術者教育の実践について、実際に授業見学を盛り込んで紹介させていただきたい旨説明があった。

機械工学科長から、資料に基づき、機械工学科の専門性及びカリキュラム構成、教育目標、就職・進学状況等についての紹介並びに本日参観の授業科目のシラバスの説明があった。

続いて、電気情報工学科長から、資料に基づき、電気情報工学科の専門性及びカリキュラム構成、教育目標、就職・進学状況等についての紹介並びに本日参観の授業科目のシラバスの説明があった。

続いて、電子制御工学科長から、資料に基づき、電子制御工学科の専門性及びカリキュラム構成、教育目標、就職・進学状況等についての紹介並びに本日参観の授業科目のシラバスの説明があった。

続いて、物質工学科長から、資料に基づき、物質工学科の専門性及びカリキュラム構成、教育目標、就職・進学状況等についての紹介並びに本日参観の授業科目のシラバスの説明があった。

続いて、建築学科長及び建築学科熊谷教員から、資料に基づき、電子制御工学科の専門性及びカリキュラム構成、教育目標、就職・進学状況等についての紹介並びに本日参観の授業科目のシラバスの説明があった。

② 授業科目参観

各専門学科の以下の授業科目について、20分程度の授業参観を行った。

機械工学科	1年	機械工学実験実習Ⅰ
電気情報工学科	3年	デジタル回路
電子制御工学科	5年	工学実験実習Ⅴ
物質工学科	3年	高分子化学基礎
建築学科	5年	設計製図Ⅴ

③ 質疑応答・意見交換

各専門学科のカリキュラム，教育内容について授業参観を踏まえて，各委員から以下の意見等があった。

機械工学科（機械工学実験実習Ⅰ）

- ・ 学生が実習に一生懸命に取り組んでいて感動した。
- ・ 1年生のためか工具を扱う姿勢について不安を感じた。
- ・ 非常に恵まれた環境で少人数のグループ分けがされている。
- ・ 安全に対する配慮がなされている。

電気情報工学科（デジタル回路）

- ・ 授業を参観して大変参考になった。パワーポイント，プリント，黒板を使用している授業は非常に工夫がされ良い教育をなされている。
- ・ 教室の狭隘さを感じた。
- ・ 実験室の環境と講義室の狭さについて環境の違いがあった。
- ・ 学生と向き合っていることが素晴らしいと感じた。

電子制御工学科（工学実験実習Ⅴ）

- ・ コンピュータのモニターがCADを使うのには小さ過ぎると感じた。
- ・ 他の教室よりも少し暑いと感じた。パソコンを使用する教室の温度管理について。
- ・ このCADシステムでは，学生が理解している程度がわかりにくい。
- ・ 授業を補助するTAも必要ではないか。

物質工学科（高分子化学基礎）

- ・ 女子学生が多いため，エアコンの温度管理が難しいのでは。
- ・ 女子教員の数が少ないのでは。
- ・ 物質の公式な名称はきちんと教えるべきでは。
- ・ 教師は教える学生の目を見て授業をされるべきではないか。

建築学科（設計製図Ⅴ）

- ・ 建築学科のプレゼンシーン，これはまさしく高専と感じた。ああいう経験が社会に良い人材として育って行くと思った。授業の雰囲気も良かった。

全体を通しての意見

- ・ 学習教育目標，達成目標について，学生への意識づけはどのようにされているか。
- ・ 教育環境は大分改善されている。
- ・ 授業中に教科以外の本を出し，授業に集中していない学生が見受けられた。学生の本質を自覚させるための指導もお願いしたい。
- ・ 施設見学・授業参観を通じ，雰囲気が自由でアットホームで，環境として非常に良い

と感じた。

- 職場環境維持改善で用いられる5S（整理，整頓，清掃，清潔，躰（しつけ））運動をカリキュラムの中に入れてもらいたい。
- 風呂の給湯配管の外側に設置されているステンレス材が一部損傷していることについて，正しくないという感性を磨くことが必要。
- 学生が自然な形で挨拶しており，学生同士の関係，教員ともいい関係ができ，それによって良い教育がなされている思う。

6) 校長から，長時間に亘り，本校の専門学科の教育内容について真剣に御審議していただき，お褒めの言葉，やや厳しい指摘等各委員からいただいた御意見，御指導及び御助言等を今後の教育改善に積極的に活かし，より良い学校とすべく不断の改善を行いたい旨の挨拶があり閉会となった。